

客のいないバー

大窓からタクシーの群れを凝視する

それはさながら食事を求めて彷徨う蟻の行列のよう

レコードの針はもう B 面の中心へと運ばれている

ビッグイエロータクシー

ウッドストック

そしてサークルゲーム

まだまだ来ない朝を待ち侘びて

路上に蔓延る精霊たちの叫びが言霊となって街を浮遊する

かつてチェルシーホテルの 1017 号室で

パティとロバートが生と死の崖で掴んだ薔薇の話

理屈を捏ね、反撃の狼煙をあげる

悠久なる美德と悪徳を探す旅

一人の痩せたサラリーマンが落ち着きなく乗り込む

ウインカーは左を指す

信号は限りなく続く歴史の断片を自らが切り取るが如く

青から赤へ、赤から青へ

男性を乗せたタクシーは遠く先へと進み

私はまだ客のいないバーで氷を削る

Hanshin Railways

Station cleaners are sweeping

the stairs and cleaning

the toilet.

A woman in the seat across

gives me a mask suddenly

when I am sniffing.

A station employee

helps a person in a wheelchair

to get him on that train.

A girl sees off

her boyfriend from the platform.